

# ヨコハマタイヤフィリピン INC. CSRレポート

**事業内容:** 乗用車用タイヤの生産・販売  
**敷地面積:** 165,000m<sup>2</sup>  
**従業員数:** 1,655人(2009年6月末現在)  
**所在地:** IE5, Clark Free port Zone, Clark Field, Pampanga, Philippines  
 TEL:+63-45-599-3606~9



## 社長ご挨拶



浜谷 孝行

ヨコハマタイヤフィリピンは横浜ゴムの最初の海外タイヤ生産会社で、1998年の操業開始から今日まで規模拡大を続けてきました。現在では操業当時の現地社員が会社経営・工場運営の主力となって活躍しており、フィリピンの国、地域に根付いた、ローカル化の進んだ会社となっています。環境面では、特に生産過程で発生する廃棄物(屑)の削減に取り組んでおり、2008年には大幅な削減を達成しました。2009年度も継続的な改善活動を進めています。また、2008年8月に「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトの海外工場での第一弾として、約5千本の苗を植える植樹祭を従業員とその家族に加え、地域の方々を招待して実施しました。苗の成長は予想以上に早く、一年で人の手が届かない程の高さまで達しています。2009年後半には第2期の植樹を計画しています。CO<sub>2</sub>を吸収し、また、火山の噴火など大きな災害が発生した際には、人々を守る避難場所としての役割を果たす「杜」を今後も大きく育てていきたいと考えています。企業の社会的責任を果たすことは当然であり、私たちは安全衛生、環境貢献、雇用・人材育成、新規投資などの面において、グローバルな基準に沿って、現地密着型の企業として地域の「信頼」を得られる活動を進めていきます。

## 2009年度環境方針

- (1) ヨコハマタイヤフィリピンは、すべての活動分野で環境へは配慮した施策に取り組みます。
- (2) 環境マネジメントシステムを強化し、環境汚染の予防と環境改善を継続的に進め、最良かつコスト効果のある技術を開発すべく努力します。
- (3) 地球温暖化防止、資源保護のため省資源、省エネルギーを推進する。さらに、「ゼロエミッション」を達成するため、分別徹底で資源の有効利用を行い、埋立処理の廃棄物を削減します。
- (4) 関連法令、行政指導、その他の環境規制を順守し、環境保全に取り組みます。
- (5) 廃棄物管理目標を設定し実施します。そのために省エネルギーと省資源、廃棄物削減とリサイクル、年間環境プログラムの検証を行います。
- (6) 全従業員、および当社のために働く全ての人々に、全社的な環境情報、教育、訓練を提供し、地域の環境保全と環境プログラムに協調し貢献します。
- (7) 関係諸官庁、地域社会とのコミュニケーションを図り、環境活動に協力して取り組みます。
- (8) 本方針は地域に公開します。

## 主な地域との交流活動

### 地域災害時などの救急支援

2008年1月に自前の救急車を購入し、工場での緊急時の患者移送に利用するだけでなく、要請があれば近隣の救急患者の移送なども行う予定です。また、3月には工場近くの国際空港で実施された災害救援訓練に当工場の救急チームが参加しました。

### YTPI奨学金制度

操業開始から継続して行っている教育支援を目的とした奨学金制度です。10年で68名の大学生がこの制度を利用しました。



空港の災害救援訓練に参加した従業員と自前の救急車



YTPI奨学金制度を利用している学生

### 苗木の寄贈

2008年9月、地域の環境貢献活動の一環として工場近くの河川を従業員が清掃し、さらに500本のマホガニーの苗木を寄付しました。また同年10月、1,300本のマホガニーの苗木を環境団体に寄贈しました。

### 工場見学の受け入れ

地域の企業、団体、学校などの工場見学を受け入れています。2008年度は20の学校が見学を訪れたほか、2008年6月に25カ国、200人が参加してマニラで開催された「Asean Rubber Conference」の工場見学を当工場で行いました。



環境団体に1,300本の苗木を寄贈



「Asean Rubber Conference」の記念撮影

環境・社会貢献活動に関する表彰

長年にわたるクラーク特別経済区での社会貢献活動や経済的貢献が高く評価され、2009年7月にアロヨ大統領より総合優秀賞を授与しました。



総合優秀賞授賞式でアロヨ大統領(右から3人目)に表彰状を授与された、浜谷孝行YIP社長(右から2人目)



「YOKOHAMA千年の社」プロジェクトとは、横浜ゴムが創業100周年を迎える2017年までに、国内外の全生産拠点に合計約50万本の植樹を行い「社」を作るプロジェクトです。2007年11月の平塚製造所での植樹祭を皮切りに本格的にスタートしました。



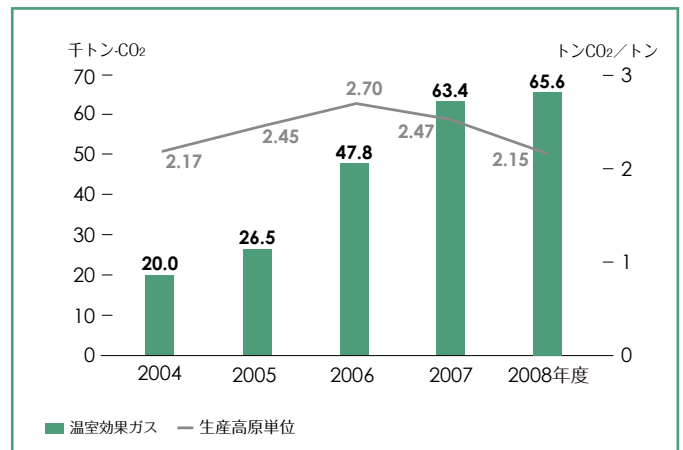
■ 2008年8月:第1期植樹祭(800名参加、6,000本植樹)

環境データ(年度は1~12月)

■ 廃棄物発生量と生産高原単位



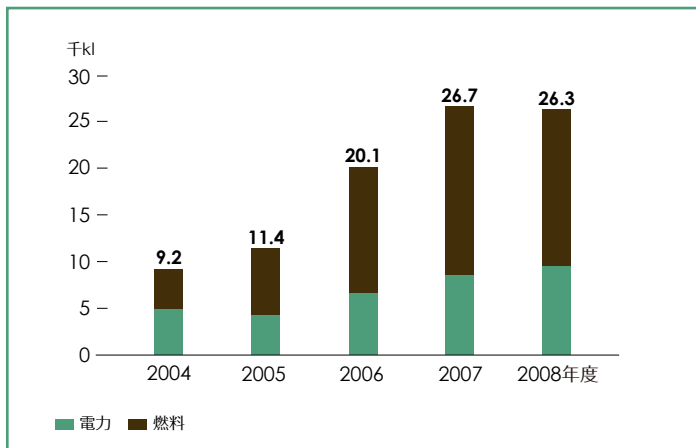
■ 温室効果ガス排出量と生産高原単位



※2007年度までの温室効果ガス排出量の算定は、電力排出係数:0.45kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用

※2008年度の温室効果ガス排出量の算定は、日本の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用

■ エネルギー使用量(原油換算)



■ 水使用量

